

馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2008年2月1日

発行元 (有)沼津電話工事

小野博文

〒410-0062 静岡県沼津市宮前町6-22

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【駅伝大会と経営】

1月14日に、生まれて初めて駅伝に挑戦してきました！経営塾の仲間とチームを組んで、焼津市駅伝競走大会（通称みなと駅伝）の花の二区、エース区間（？）を走らせてもらったのです！

駅伝はこれまでテレビでは何度か見たことがありましたが、普通のマラソンとこんなにも違うのかと驚き、経営にも活かせると思ったので今回紹介することにしました。

私は去年の秋、初めてフルマラソンに挑戦しましたが、その時はひざが痛くなり途中リタイアをしてしまいました。それでも、自分なりに、ここまで良く頑張ったなあ等と自分を褒めたりもしました。

ところが駅伝は、仲間が頑張ってくれた襷を、自分が止めてしまう訳にはいかないという気持ちが湧いてくるのです。お正月の箱根駅伝で、体を痛めたり、意識がもうろうとしても、走り続けてしまう選手の気持ちが少しわかったように思います。

(私は最初から、もうろうとしていましたが…)

当日、駅伝大会もスタートし、私は二区中継所で一区をスタートした仲間を待ちます。次々にゼッケン番号が呼ばれ、二区の選手が襷を受け取り走り出していきます。しかし、うちのチーム名はなかなか呼ばれません。「何かアクシデントでも…？」と不安がよぎりました。すべての選手が出走し、数分経っても私のチームの第一走者は現れません。

「やっぱりダメだったのかな？」と思った時、「最後尾」と書かれた自動車を従えた仲間の姿が見えてきたのです！その時は、本当に感動しました。襷を受け取って早く前の選手を追いかけようという気持ちよりも、仲間がここまで来てくれた事が嬉しく、中継所で抱き合ってしまった。

応援に来てくれていた他の仲間がレース後に教えてくれたのですが、近くにいた中学生が、第二区の中継所で抱き合うふたりを見て、「感動するよね！」「あ～ゆ～のいいよね！」と話していたそうです。

一区から届いた重い襷と、沿道で温かく応援してくれる方々のおかげで、私も「最後尾」の車を従えながら無事、三区で待つ仲間へ襷を渡す事が出来ました。仲間がいるから頑張れる、応援して下さる方がいるから辛くても挑戦しようと思えるのは、駅伝だけではないですね。仕事にしても、人生にしても、人に感動を与え、自分の為ではなく人のために頑張れる自分でいたいと思います。

【手品】

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、私の趣味のひとつに手品があります。今までに保育園や幼稚園、イベントや、飲食店でのマジックショー等で披露してきました。皆さんに喜んで頂けたかはわかりませんが、私は本当に楽しかったです。

私が出来る手品は、インチキも入れて数十種類あります。特に誰に習ったわけではないのですが、けっこう本格的なんですよ！

手品のネタのほとんどは市販のものです。手品によってすぐ出来るもの。練習の必要なもの。面白い手品、つまらない手品等、色々ありますが、どんなに簡単なものでも、手品には必ず種があるのです。手品で人を喜ばせるのに大切なものは、この「タネ」と「練習」です。

私の場合、手品を仕入れたら、家族に見てもらいます。うちの家族もずいぶん目が肥え、評価がとてもしんどいですが私の良い先生です。そしてけっこう重要なのが「トーク」です。つまらない手品がよみがえる時があります。手品のテクニックの少ない私は、実はここに力を入れています。(笑)

私は皆が笑っているのが大好きです。私の手品で笑ってもらい、みんなに元気になってもらえれば、こんなに嬉しいことはありません。もし私で役に立つのなら、幼稚園から老人ホームまで、どんな場所でもやらせて頂きますので、気軽に声をかけて下さいね！頑張っちゃいます！！

これくらい仕事も熱心なら、もっと会社が良くなるのに…という天の声が聞こえてきます。でも、本当にそうかも知れません。営業や経営でも仕掛けや工夫、準備が必要ですよ。

仲間うちで「ガネーシャ」と呼ばれている杉井先生は、「手品をただ一生懸命やっても、鳩をポケットにしまっただけなら鳩は出ないよ！」と言います。タネを仕掛けても練習をしていなければ、どんなに頑張っても良い会社にはならないし、売上も伸びないという意味でしょう。自分の特性を活かして、タネ（魅力）を用意し、練習（研修やトレーニング）を積み重ねていきたいと思っています。沼津経営塾では、個人個人にあったタネ作りの勉強もしています。良かったら遊びに来て下さい。

(本物の手品の仕掛けではないですよ。笑)

【松下が消える！？】

“経営の神様”と呼ばれた故・松下幸之助氏が、大正7年に創業して以来、90年にわたって使用してきた「松下」を社名から外す事になりました。「松下」「パナソニック」「ナショナル」などの分散する企業と、ブランドイメージを統一することで、競争が激化する海外市場での存在感を増す事を目指すそうです。ちょっと寂しい気がします。



沼津経営塾開催日

2月7日(木) 市民文化センター第四会議室 PM7:00より

お馬様の
今月のお言葉

因
心
を
送
る
可
也